事例No.	2412
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	おぐにマルチワーク事業協同組合

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・移住定住 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

おぐにマルチワーク事業協同組合
職員（マルチワーカー）がキャリア探究できる町へ！

出典

特定地域づくり事業協同組合事例集

事　例　**おぐにマルチワーク事業協同組合**

職員（マルチワーカー）がキャリア探究できる町へ！

山形県 小国町

活用のきっかけ・期待すること

▶地元農業者が異なる業種の事業者を集めて従業員のシェア制度ができないかと話していたところ、それを聞いた自治体職員が人材不足の解消だけでなく、移住促進に繋がると考え行政主導で令和元年度から組合設立を目指した。

▶派遣職員が町内の事業者や町民と関わる中で、将来的には組合員事業者への直接雇用や事業者と関わりのある形での起業によって町の経済や文化、自然環境の維持・発展を担う。

取組内容

▶移住者を雇用し、町内の事業者へ派遣

町内の農業、炭素加工製造業、ガス業、熱供給業、宿泊業、飲食店、娯楽業、食料品製造業等、17の事業者が組合員となっている。

これまでに組合で雇用した職員9名と事務局員2名は移住者で、事務局長は元地域おこし協力隊。また現在雇用している職員は季節ごとの派遣先選択肢を増やして、よりキャリア探究ができる派遣体制を創るための開拓者として位置付けている。

住まいの確保

▶移住者用シェアハウスの運営支援も

単身で移住してくる人が多いため、職員の多くがシェアハウスを利用している。組合員の繋がりで空き家になる前の一軒家を紹介してもらい、町内に3つのシェアハウスがある。そのうちの１つは職員が個人事業主として経営・管理をしていて組合が運営支援を行っている。

また派遣職員が、森林セラピー基地の整備、神社の神輿担ぎや「お田植え祭」、「抜穂祭」、町民有志による新春餅つき大会等に参加することで町民との交流を図っている。

マルチワークのイメージ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A	農業（田植え）			宿泊業（温泉宿泊施設）			農業（稲刈り）		娯楽業（スキー場）			
職員B	農業（田植え・草刈り・防除・稲刈り）								食料品製造業（酒造業）			
職員C	宿泊業（温泉宿泊施設）								ガス業・熱供給業（ガソリンスタンドなど）			
職員D	窯業・土石製品製造業（炭素加工）								飲食店（和食）			

組合に関わる皆さんの声

▶組合員(農事組合法人小国きんたけ工房)

1年を通して週に1日職員を受け入れています。派遣体制はまだまだ発展途上ですが、今まで頼っていた近所や親戚の人たちも高齢化して、その必要性は益々増えていくと思います。2つの事業者で半日ごと受け入れて職員1日分の仕事を作るなど地元事業者のニーズに応じて柔軟な派遣の形を受け入れ側も考えていきたいです。

▶派遣職員（20代滋賀県から移住）

春から秋までは温泉宿泊施設で清掃や配膳をしたり、酒造会社で日本酒の試飲販売、冬は飲食店やガソリンスタンドなど複数を兼務している。休みの日は、地域行事に参加して小国町の方と関わったり、今まであまり経験出来なかった小国町ならではのことに触れたりしている。これからもマルチワークで色々な働き方をしながら町民の方と関わって、自分自身の探究をしながら過ごしていきたい。





